つちだレポート

都市対抗野球東京都第一代表予選

一歩及ばずＮＴＴ東日本に２対１の惜敗

第二代表に向かって

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
安打	0	1	0	0	1	0	2	3	0	7
明治安田	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ＮＴＴ東日本	0	0	0	0	1	0	1	0	X	2
安打	0	0	0	1	2	0	2	0		5

明治安田バッテリー

鈴木・平田・古田・重信・大久保　―　尾島

明治安田生命は必勝を期して今シーズン好調の鈴木投手が先発。４回まで１安打に抑え、５回先頭打者にレフト前、送りバンド１死２塁、次打者を三振で２死とするも次打者にライトオーバーの３塁打で先取点を許し２死３塁、ここで平田投手に交代、２四球で２死満塁となるも後続を打ち取り１点に押しとどめた。

７回３番手古田投手が先頭打者に左中間に２塁打され送りバンドで１死３塁。５回に打たれた選手にタイムリーを打たれ２点を献上、以後４番手の重信投手が後続を断つ。

８回は大久保投手が三者凡退に打ち取り９回の反撃を期するも、２死から死球で出塁するも盗塁失敗で万事休す。

打撃陣は２回４番荒川選手がセンター前ヒットで出塁し相手投手のボークで無死２塁、打者加藤選手の絶好のチャンスも加藤選手の打球はセンターへ抜けるかと思われたが投手が体を張って好捕、２塁ランナー荒川選手は戻れずダブルプレーでチャンスを逃す。その後６回まで２安打と相手投手に翻弄されていたが７回１死後加

藤選手、本田選手が連打し反撃のチャンスも後続が抑えられ無得点、誠に残念でした。ここ一番で一本出ず。

しかし８回２死走者なしから１番増野選手が３塁内野安打、２番米丸選手がセンター前に運び２死１・２塁で３番嶋田選手がレフトへタイムリーで１点差、続く４番荒川選手にチームの運命を託すがライトフライで同点・逆転の夢が泡と消えた。ここ一番の一本が出ず勝負の分岐点となってしまった。

この試合では５投手が好継投で強力打線のＮＴＴ東日本を５安打２失点に抑えたのは立派であった。今後期待できる。頑張れ投手陣。

打撃陣もＮＴＴ東日本より多くのヒットを打ち、特に８回の２死走者なしからの３連打での１得点は素晴らしいが追加点を逃したのは残念。また７回のチャンスを生かせなかった事を量としてここ一番のバッティング練習に力を入れて欲しい。

スタンドの社会人野球のファンの声を選手諸君に伝えたい。

林新監督は素晴らしい指導者だ。選手が監督の意を理解したらこのチームは今年必ず東京代表として都市対抗野球大会で活躍するとスタンドで観戦している多くの社会人野球のファンの声が聞こえてうれしく感じました。

（試合前ベンチ前で内野手へノックや３塁コーチとして陣頭指揮の姿等を観て）

第二代表戦の一回戦は５月２６日（月）大田スタジアム　１０時試合開始予定。

対戦相手は第一代表候補のセガサミーに２対１で惜しくも敗れた全府中野球倶楽部です。応援よろしくお願いいたします。

土田　唯雄

都市対抗野球東京第一代表予選

一回戦　対ＮＴＴ東日本戦　スナップ写真

試合前応援団に挨拶

対戦相手と挨拶交換

先発　鈴木投手

２番手　平田投手

３番手　古田投手

４番手　重信投手

５番手　大久保投手

３塁コーチ　　林　監督

４番荒川選手センター前ヒット

６番　本田選手ライト線２塁打

友和会応援団

明治安田応援団